

「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」を活用した普及啓発の実施について

1 チェックリスト作成の過程

- 平成25年度に、都と東京都健康長寿医療センターが連携して東京都町田市の一部地域の在宅高齢者(約5,000人)を対象にアンケート調査と看護師等による訪問調査を実施
- 調査結果の分析を通して、チェックリストの項目を選定し、信頼性、妥当性を検証

2 チェックリストの活用

1 チェックリストを盛り込んだ認知症の普及啓発パンフレット「知って安心 認知症～認知症の人にやさしいまち 東京を目指して～」を作成

- 主な配布先(作成部数 65,000部)
区市町村、地域包括支援センター、医療機関等



2 メディア等を活用した普及啓発

新聞、公共交通機関、ホームページ等の活用

○新聞折り込み(実施済み)

- 配布対象 都内全域(島しょを除く)
- 配布部数 約375万部
(読売、朝日、毎日、日経、産経、東京の新聞各紙)
- 配布時期 平成26年10月15日(水)

3 メディア等を活用した普及啓発の一環として映像広告の実施

実施予定時期:平成27年3月下旬

テーマ

- ① 認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です
- ② 認知症とは?
- ③ 認知症の予防につながる習慣
- ④ 認知症に早く気づくことが大事!
- ⑤ 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう!
- ⑥ 認知症になるとどのように感じるの?
- ⑦ 認知症の人を支えるために
- ⑧ こんな時はどうすればいいの?

映像作品

・スポット映像:15秒×6作品以上

- ⇒インターネット(youtube、都庁ホームページ)掲示、車内映像広告等における放映を想定。
- ⇒対象世代に訴える特に印象に残る出演者及び内容とする。

・オムニバス映像(教材用) 3分以上×6～8作品

- DVD1,000枚を関係機関へ配布
- ⇒区市町村や学校等における研修用の教材を想定。
- ⇒著作権や肖像権等の問題をクリアし、できるだけ長期間継続的に使用できるものとする。

ポスター等作品

・映像作品の素材を用いたポスター・ステッカー等の作成

- ⇒B1サイズ・・・駅貼り、中吊り用
- ⇒B2サイズ・・・区市町村等関係機関へ配布
- ⇒23区及び多摩地域の駅、電車内、路線バス等に掲出する。
- ⇒WEBサイト「とうきょう認知症ナビ」に誘引する。